

アル・アクサ洪水 219 日目：社会主義指導者が暗殺される | ラファとサブラで多数の死者 | レジスタンスの反攻

脇浜義明訳、田中一弘補訳 Palestine Chronicle 2024年5月12日



ガザ北部のパレスチナ人は再び避難を余儀なくされた。(Phot: via QNN)

主要トピック

*イスラエル・メディアの報道によれば、国家安全保障会議の委員一人がベンヤミン・ネタニヤフの政治的見識の欠如に抗議して辞職し、イスラエル軍筋も、交渉が行き詰まっていたら、ガザの戦果が役に立たないではないかと懸念している。

*イスラエル軍のジャバリヤへの攻撃と強制立ち退きが激化したので、戦争がガザ北部へ戻った感となった。

*パレスチナによる抵抗の反撃も激化、ガザ各地で戦闘、イスラエル領へミサイルも発射されている。

*ガザ保健省によれば、10・7以降のイスラエルの虐殺の犠牲者は、死者35,034人、負傷者78,755人となった。

最新情報

5月13日 02:15am

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍がラファ東のアル・ジェネイナ地区を攻撃し

た。

*チャンネル12 (駐イスラエル米国大使の発言として) : 米国のイスラエル支援の中断はない。イスラエルはラファ攻撃というレッドラインを越えたとは思わない。

5月13日 1:00 am

*アル・ジャジーラ : パレスチナ解放民主戦線 (DFLP) 幹部のタラル・アブ・ザリファ (Talal Abu Zarifa) がイスラエル軍のガザ市アル・サブラ地区攻撃で殺害された。

5月13日 12:00 am

*テレグラフ (英国メディア) : 英国労働党が、ラファへの攻撃に関する懸念が高まる中で、イスラエルへの兵器販売をやめることを初めて呼びかけた。

*パレスチナ・メディア : ガザ南部のアル・サブラ地区の住宅へのイスラエル軍の砲撃で、3人が死亡、8人が負傷した。イスラエル軍の空襲はラファのブラジル地区の住宅を標的とし、イスラエル軍の無人偵察機は同地区の救急隊員を標的とした。

5月12日 9:00 pm

*ヒズボラ : 我々はイスラエルのアル・マリキヤ軍事施設のスパイ機器を標的にミサイルを撃ち込んだ。

*イスラエル軍参謀長 : 10月7日にハマス奇襲を防ぐことができなかったのは我々軍の失策であり、その責任は私にある。

パレスチナ・メディア : ラファ市南部で市民グループを狙ったイスラエル軍の攻撃で、一人死亡、三人が負傷した。

*アル・ジャジーラ : ガザ地区のステロットとその境界で警戒警報が鳴り響いた。

5月12日 8:00 pm

*ハアレッツ : イスラエル政府は国際司法裁判所がラファ軍事作戦をやめよという命令を出すのを心配している。

*ハマス : 我々の指導者イスマイル・ハニエ (Ismail Haniyeh) が、ハマスが仲介者の提案を受け入れた後の事態の展開、及びその事態の展開を受けて仲介者が合意実現の努力を中断したことについて、トルコ国家情報機関長官のイブラヒム・カルン (Ibrahim Kalin) と会談した。

*アル・ジャジーラ : イスラエル占領軍はラファ市東部の建物群を爆破した。

*トルコ情報筋 (アル・ジャジーラに) : 本日国家情報機関長官がハマスのイスマイル・ハニエと会った。

*米上院議員リンゼイ・グラハム (NBC 取材で) : わが国はイスラエルに爆弾を与えるべきだ。イスラエルはユダヤ人国として存続するために必要なことを何でもしなければならない。

*アル・カッサム旅団 : 我々は大口徑迫撃砲でラファ交差点の東に結集していたイスラエル兵と軍車両を破壊した。

*アル・クッズ旅団 : 我々はラファに集結していたイスラエル兵と軍車両に迫撃砲の「集

中砲火を浴びせた。

*イラン外務大臣：シオニスト国家の核武装を解除させない限り和平は不可能である。

*アル・カッサム旅団：我々はラファ交差点へ入ろうとしている敵兵と車両を標的としている。

5月12日 7:00 pm

*アル・カッサム旅団：我々はジャバリアのアル・マブーフに集結していた敵兵と車両を攻撃した。

*カン：ガザ回廊からイスラエルに向けてミサイルが発射された。

*イスラエル軍：ガザ回廊内の戦闘でこの24時間でわが軍の50人の兵士が負傷した。

*ハマス：バイデン米大統領の停戦に対する姿勢はカイロ交渉の停戦提案よりも後退している。

5月12日 6:00 pm

*ブリンケン国務長官：イスラエルがガザに留まれば反乱が起きるだろう。ガザを離れればその空白をハマスが埋めるだろう。

*アル・カッサム旅団：我々はジャバリア難民キャンプの東のアル・マブーフの近くで複雑な作戦を行っている。その中でアル・ヤシン105砲でイスラエルのメルカヴァ戦車を標的にした。敵兵が我々が事前に用意していたブービートラップを仕掛けた家屋に逃げ込んだので、それを爆破、敵兵が死亡・負傷した。

*アル・ジャジーラ：米国のジョンズ・ホプキンス大学で、大学側がイスラエルとの関係の切断を早く行くと約束したので、学生たちはシット・イン抗議を解いた。

5月12日 4:00 pm

アル・カッサム旅団：我々はジャバリア難民キャンプの東でアル・ヤシン105砲で敵のメルカヴァ戦車1台を標的に砲撃した。戦車は燃えて、乗り組んでいた敵兵は死傷した。さらに、近くに集結していた兵士集団を迫撃砲で攻撃した。他に戦車2台をアル・ヤシン105砲で攻撃した。

5月12日 3:00 pm

*アル・カッサム旅団：我々はジャバリア難民キャンプの東でドローンで対戦車爆弾を敵のメルカヴァ戦車の上に落とした。

*ユニセフ：ラファには60万人の子どもにとって安全な行き場がない。

*アル・ジャジーラ：パレスチナ抵抗グループがイスラエルのアシュケロンに向けてロケット弾を一斉射撃したが、これはイスラエル占領軍が侵入したジャバリア難民キャンプから発射された。

*ガザ保健省：10月7日に始まったイスラエル軍のガザ住民虐殺で死亡したパレスチナ人の数は35,034人、負傷者数は78,755人となった。

*アル・カッサム旅団：我々はザイトゥーン地区の南の「道路8」に集結していた敵兵を迫撃砲で攻撃した。

5月12日 1:30 pm

*ウォールストリート・ジャーナル:イスラエルのラファ制圧はハマスへの強力な戦略的打撃とはならないだろう。ガザ市やガザ北部で戦闘が再び激化したことは、ハマスに戦闘能力がまだ十分にあることを表している。

*ガザ市民防衛隊:我々は市民生活の80%を失った。我々は国際社会に苦しい状態を訴えてきたが誰も応じてくれない。

*イスラーム聖戦運動の指導者:我々パレスチナ人民とその抵抗グループはこれまで経験したことがないような種類の戦闘をガザで戦っている。我々は勝利するまで闘い続ける。私はパレスチナ人民の心を強くするようにアッラーに祈っている。

マアリヴ (イスラエル新聞):一昨日の5月10日、イスラエル治安システムの副本部長でヨガヴ・バール・シェシュト (Yogav Bar Shesht) 少将が、ガザでパレスチナ抵抗グループとの戦闘で負傷した。

*ハアレツ:10月7日以降イスラエル軍の自殺者は将校と一般兵士の10人。

*イスラエル・メディア:ガザからガザ周囲にある入植地にミサイルが発射された。

*米国メディア:大学内の抗議デモで約3000人の学生が逮捕された。

5月12日 12:00 pm

*エルドアン:ネタニヤフはヒトラーがやきもちを焼くレベルにまで達した。

*ガザ市民防衛隊:イスラエル占領軍は市民防衛隊の隊員を標的に攻撃を続け、あらゆる方法でパレスチナ人を殺害している。

*パレスチナ・メディア:ガザ北部のジャバリアでパレスチナ抵抗グループとイスラエル占領軍の間で激しい戦闘が続行している。

*アル・ジャジーラ:ジャバリア難民キャンプで住民民家へのイスラエル軍の砲撃が続いている。軍はキャンプに逃げ込んだ避難民を収容するシェルター付近に侵入している。

*ABC(元米 국무省高官の言葉として):ガザでは34,000人以上 — そのうち14,000人が子ども — が殺害され、そのほとんどは米国の弾薬で殺害されたのだ。

*イスラエル政府高官たち (ハアレツの取材で):閣僚たちはイスラエル交渉団に交渉を再開する権限を与えることを支持している。

5月12日 11:00 am

*ヌセイラト市役所:48時間以内に燃料がなくなる。燃料がなくなると人道的危機となり、重大な健康と環境の破壊となるだろう。

*スペイン外務大臣:何千人ものパレスチナ人を立ち退かせることはとても認められない。ラファでの軍事行動を止めるべきだ。

*イスラエル・メディア:昨日11日、テルアビブの市民デモで約30人が逮捕された。

5月12日 10:00 am

ワラ (イスラエルのインターネット・メディア):軍は人質返還の交渉が頓挫するとガザ戦争で獲得した戦果が無に帰すると思っている。軍は軍がガザで達成した戦果を利用して政

治的に前進することができないネタニヤフ政府を非難している。

*イエディオト・アハロト（イスラエル新聞）：イスラエル軍はナハリヤ地域の海上を飛んで来たドローンを撃墜できなかった。ドローンが何処に着地したか、現在捜索中。

*アル・クッツ旅団：ラファ東部の敵兵集団をミサイル攻撃した。

5月12日 09:00am

*アル・カッサム旅団：我々はジャバリアの東で敵と激しく交戦中。

*UNRWA：先週ラファを脱出した人々は約300,000人。

*イスラエル・ラジオ：イスラエル・ラジオ放送は、国家安全保障会議で戦略計画を担当するヨラム・ハモ（Yoram Hamo）が辞任したことを伝え、辞任理由として ガザ戦争の今後に関してネタニヤフ首相が政治的決定をしないこと、及び制御したはずのガザ北部に再び軍事衝突が起きていることへの不満だと言った。

5月12日 08:00am

*アル・ジャジーラ：イスラエルはジャバリア難民キャンプの中の避難民シェルターと住宅にドローン爆撃をし、地上軍をジャバリアの東部へ侵攻する構えである。

5月12日 04:00am

*パレスチナ・メディア：イスラエル爆撃機が、今日明け方、ガザ北部への攻撃を再開した。

5月12日 03:00am

*アル・ジャジーラ：早朝、イスラエル軍はラファ市の中心と東部を砲撃。

5月12日 02:00am

*アスカロン（アシュケロン）市役所：今朝ガザ回廊から2発のミサイルが当市に向かって発射された。一発はアイアン・ドーム（イスラエルの防空システム）で撃墜されたが、一発は市内に着地した。

*ガザ市民防衛隊：占領軍がジャバリアを猛攻撃しているので、我々は怪我人の救出もできない。ガザ北部の病院はすべて機能停止している。

5月12日 01:30am

*パレスチナ・メディア：ハマス政治局員のイザット・アル・リシェクは、ベンジャミン・ネタニヤフとその軍がガザに仕掛けた戦争は明確な目標のない不条理なものだと言った。